

## 6月定例会補正予算の主なもの

### ①定額減税および低所得者への支援

定額減税(所得税3万円、住民税1万円の計4万円)は6月の給与・年金から(事業者は確定申告で)控除されますが、この恩恵を受けられない住民税非課税世帯、住民税均等割のみ課税となる世帯を対象に、1世帯10万円、18歳以下の子ども1人あたり5万円を支給します。さらに4万円の定額減税に達しないと見込まれる被課税者に対して調整給付が行われます。

### ②コミュニティー助成事業

2カ所440万円、防災コミュニティー助成事業1カ所90万円

### ③教育支援充実事業費

北中および南中に教育支援センターを設置し、別室登校などに対応します。

### ④公民館類似施設建築費補助金

改修、敷地を新たに購入する場合など下限200万上限500万の工事が対象

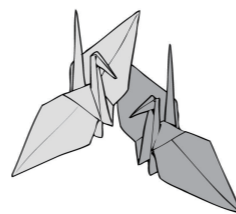
### ⑤新型コロナワクチン定期接種委託料

65歳以上の方及び60～65歳未満で基礎疾患を有する方が対象で、10月から始まります。

### ⑥気候変動に対応した果樹栽培

新植・改植によるブドウ及び桃の団地化の生産施設整備及び苗木養成費に対する補助金

### ⑦観光キャンペーン推進協議会負担金の増額



## 委員会でも積極的に発言 守岡議員



### ①産婦人科・小児科の開設に向け

米沢市では、市独自の医師確保策を講じています。新規診療所の開設または既存の診療所の医業承継者を対象に、1千万円助成しています。本市においてもこのような医師確保策を講じて、産婦人科・小児科の開設を図れないか質しました。

### ②中小企業への支援

きらやか銀行・じもとホールディングスが国の管理下におかれることになり、今後貸し渋りや貸し剥がしが進むことが予想されます。すでに倒産する事業所も出てきており、市としての対応と支援を求めました。

### ③米農家への支援

高温障害等により米の不作が続き、市内の旅館や飲食業店からも米不足の声が寄せられています。また、国会では「農業基本法」が改正され、今後ますます輸入中心の農業構造となり、戦争が深刻化する中、食糧危機に直面することも予想されます。米作農家に対する独自の支援策が山形市と比較しても劣っているため、この充実を求めました。

### ④水道問題

上下水道の整備・管理行政が、厚生労働省から国土交通省に移管し、ウォーターPPP(官民連携)が進行します。ウォーターPPPによって地元中小業者の経営悪化が予想され、浜松市では損害を市で負担する制度を設けています。本市の進捗状況を質したところ、PPPは下水道を先行して検討しており、今年度方向性が示される予定だということです。

★9月定例会一般質問はサンデー議会です。

9月8日(日)傍聴においでください。